

施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	管理コード 010101
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ 44
		関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市第3次健康づくり計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局		健康福祉部、教育委員会			
施策の内容(番号)		001		～	004

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	A	①	子育て推進課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	A	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	A	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	A	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101001
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)				
	担当部局	健康福祉部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
001-1	出会い応援事業	独身男女の出会いを支援するイベント及び出会いに係る相談会等の実施	効	婚活イベント、相談会及びセミナーに参加する	◆ 年3回のイベント、年4回の相談会等の実施	◎	計画通り事業を実施することができ、各事業の満足度も高い(イベント74%、相談会88%等)ため「◎」とした。 「つながる支援体制」の構築を目指し、相談会を開催しているが、イベントのみに参加する人も多く、支援体制の構築には課題もある。県の事業も増加していることもあり、今後も参加者のニーズを確認しながら事業を検討していく。
	誰		出会いや結婚を希望する独身男女及びその家族	◇ 参加者の意見(満足度)	◎		
	子育て推進課		何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	701 (千円)	現状維持	
001-2	少子化対策地域支援活動事業	結婚・妊娠・出産・育児の一貫した「切れ目ない支援」を目的とした少子化対策事業の実施	効	市内に活動拠点を有する民間非営利団体が、補助金を活用して開催する出会いの場に参加する	◆ 民間2団体への補助	△	応募、採択共に1団体となった。また、実施された婚活イベントへの参加者は定員52名に対し31名と集客に課題はあるものの、イベントを機に積極的に婚活を続けたいという女性参加者からの声もあり、一定の成果が認められる。今後は事業の周知方法等の改善を図り応募団体の増加を図りたい。
	誰		結婚を希望する独身男女	◇ 婚活イベント等への参加者数	○		
	子育て推進課		何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	65 (千円)	現状維持	
001-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
001-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
001-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

001-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
001-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
001-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
001-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
001-10	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり			
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実		管理コード	010101002
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり		本冊ページ	44
		関連個別計画	津市教育振興ビジョン前期基本計画(平成30年度～令和4年度)				
	担当部局	教育委員会					
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の 事業実施計画	◎ 実施 評価 事業 評価		
	担当課		何	何のための事業か	◇ 事業評価の 主な視点	◎ 今後の 方向性		
002-1	思春期ライフプラン教育事業	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、生徒等を対象に保健指導の実施	効	保健指導の実施により、生徒の自己肯定感を高める思春期の性や妊娠出産等についての知識の普及	◆ 津市立の中学生(義務教育学校後期課程生を含む)を対象に実施する	◎	各校の実績報告書から、生徒が自身の性や生き方について積極的に学んでおり、期待される効果に対して成果があったと考えられる。今後も継続して事業を実施する。	
	誰		市内の中学生(義務教育学校後期課程生を含む)	◇				◎
	何		生徒が自身の性について知り、将来や生き方について主体的に考えることができる	360 (千円)				現状維持
002-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
002-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
002-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
002-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和4年度分)

002-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
002-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
002-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
002-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
002-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101003
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
		関連個別計画				
	担当部局	健康福祉部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価 ◎ 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
003-1	医療費助成事業	不妊治療、不育症治療に対する医療費の助成	効	子どもを望む夫婦が治療を受ける機会が増える	◆ 助成を希望する全員への助成	○	R4年4月から不妊治療が保険適用となったことから、新たな特定不妊治療費助成制度を創設し効果があった。R5年度からは、一部対象者を拡充し、より効果的な事業となるよう進めていく。
	保険医療助成課		誰	不妊治療・不育症治療を受ける夫婦	◇ 助成件数	◎	
003-2			何	経済的負担の軽減	15,739 (千円)	拡充・充実	
			効		◆		
			誰		◇		
003-3			何		(千円)		
			効		◆		
			誰		◇		
003-4			何		(千円)		
			効		◆		
			誰		◇		
003-5			何		(千円)		
			効		◆		
			誰		◇		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

003-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
003-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
003-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
003-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
003-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101004
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画	津市第3次健康づくり計画(平成29年度～令和4年度)				
	担当部局	健康福祉部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
004-1	妊婦一般健康診査事業	母体や胎児の健康確保、経済的負担の軽減を図り、安心して産み育てる環境づくりを推進するため、妊婦健康診査(公費負担14回)を実施	効	妊婦健康診査を受診する機会が確保でき、妊娠中の異常を早期に発見し、安全に出産を迎えることができる	◆ 14回分の妊婦一般健康診査の提供	◎	妊娠届時に、14回分の妊婦一般健康診査を交付することができたため「◎」とした。妊娠中の健診については、里帰りでも県外で受診する場合もあることから、償還払いにて受診することも周知し、すべての妊婦が健康診査を受けられるように進める
	健康づくり課		誰	妊娠届を提出した妊婦	◇ 妊婦健診の受診率	◎	
			何	健診を受けることで、妊婦自身が健康管理ができる	168,506 (千円)	現状維持	
004-2	養育医療事業	身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児の養育上必要な医療の給付	効	入院を必要とする乳児に対し、必要な医療を提供できる	◆ 養育医療の申請があった者に医療を提供する	◎	申請があった者に対し、給付することができたため「◎」とした。申請件数が増加傾向にあることから、申請に対する医療給付に努める
	健康づくり課		誰	出生体重が2,000グラム以下の者、または、生活力が特に薄弱であり、一定の症状を有する者	◇ 申請件数、受理件数	◎	
			何	保護者が経済的な負担を心配することなく、必要な医療が受けられる	25,692 (千円)	現状維持	
004-3	産後ケア事業	産後の育児不安が強い方で、家族等からの支援が得られない場合に、宿泊・通所・訪問で母子の心身のケアや育児サポートを実施	効	産後の母子の心身のケアや育児サポートを行い、疲労回復、育児不安の軽減により、安心して育児ができる	◆ 産後ケア対象者にケアの提供	◎	産後ケア対象者に、必要なケアを提供ができたことから「◎」とした。産後ケア事業については、国からも更なる推進について勧められ、実施要綱の改正があり、対象者等が見直されたことから、事業の拡充を図る
	健康づくり課		誰	産後1年未満の産婦	◇ 実施前後の産婦の変化、満足度	◎	
			何	産後早期から育児支援を行うことで、安心して育児ができる支援体制が推進できる	4,214 (千円)	拡充・充実	
004-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
004-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

004-6	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
004-7	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
004-8	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
004-9	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
004-10	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

